

統一協会と関係認める

細田衆院議長 断絶明言せず

細田博之衆院議長は
した。

29日、統一協会と極めて深い関係にあったことを認める文書を発表しました。

文書はわずかA4一枚。2018年～19年にかけて、統一協会の関連会合に4回出席

し、やのわづらではあつわりをしてしまひ、19年の関連団体の出版物に掲載するため改憲問題のインタビューを受けたことなどが選挙での支援を受けていたことを認めています。

「社会因に問題がある」と指摘された細田は、統一協会の派

閥「清和政策研究会」（現安政派）の元会員で、安倍晋三元首相とともに統一協会との深い関係が指摘されていました。而して統一協会は、統一協会の属議員と統一協会ののかわりについて、直正の結果を公表しましたが、細田は自派で、反省も統一協会の関係断絶も表明していないました。

一方で、「関係者は、私は関係をもたないよう、適切に対応してまいります」とするだけで、反省も統一協会を離脱してしまひ、形式的理由で対象外となってしまった。

統一協会に関連する議連「日本・世界平和議員連合懇談会」と「日韓海底トンネル推進議連懇」のそれぞれ名前を長と題間に就いていたりと認めま

9/30 木曜

統一協会 細田氏文書 非常に問題

野党国対ヒア 弁護士が批判



統一協会問題の国対ヒア
コンクールの日、國内内

統一協会（世界平和一家庭連合）問題に関する野党国対ヒアリングが29日、国会内で開かれ、同日発表された統一協会との関係を認められた細田博之衆院議長の文書について、全国靈廟法対策弁護士連絡会の木村社、阿部克臣両弁護士が「非常に問題で、信者やその家族に与えた影響は大きい」と厳しく批判しました。

木村氏は「有力な政治家が統一協会関連団体の活動をたたえることの影響を考えていたことが献金被害の原因になつてゐる」と指摘。阿部氏は「議長も務めていたようの方が統一協会の会に出席をして、しかも韓鶴子総裁の功績をたたえるような発言を述べるといふのは非常に問題」「文書一枚で足りるのかどうのは正直思いますが」と語りました。

政府が設置した合同電話相談窓口が受けた相談件数（5～27日）は2153件だと報告。日本共産党的宮本徹衆院議員は、9月末に終了予定の同窓口について「周知力、安心できるところでも國が窓口を設ける意義は大きい。今これだけ相談ができるようになってからも窓口の延長を始めている。これが求めました。

やめるといふのはありえない」と窓口の延長を求めるました。